

令和6年度実証実験サポート事業 課題提案票

テーマ2	健康増進に向けた行動変容を促すための「健幸クラブ」活用方法の検証（浜松市）
------	---------------------------------------

1. 解決したい課題の内容

- ・浜松市は他自治体と比較して、脳血管疾患による死亡率が高く、糖尿病予備群が多い。これらは生活習慣の改善により、リスクを軽減することが可能であり、健康無関心層等への行動変容が極めて大切である。
- ・そこで浜松市では、健康無関心層の行動変容を目的に、市民の日々の健康活動をサポートするスマートフォンアプリ「はままつ健幸クラブ」（以下、「健幸クラブ」）の運用を開始した。健幸クラブには、ウォーキングや検診受診などの健康活動や、健康イベントへの参加によりポイントを貯めて景品の抽選に応募ができるといったインセンティブ付けがされている。
- ・健幸クラブは、2022年10月11日に運用を開始し、2023年3月31日（令和4年度末）時点で7,137人、2024年3月31日（令和5年度末）時点で13,831人と、DL数を順調に伸ばして来たが、当初の目標であった令和5年度末15,000人を達成することができていない。本市の年代別人口に占める登録率は、最も多い50代で2.39%、次いで60代1.98%、40代1.63%、30代1.53%、20代0.98%であり、30代以下の登録者増加を図りたい。

2. 実現したい目標について

- ・健康無関心層に対して行動変容を促し、浜松市民の健康寿命延伸や糖尿病予備群の削減を実現したい。
- ・健康無関心層にアプローチするために、健幸クラブのアプリ利用者を増加させたい（登録者数目標はR7.3末で24,000人以上）。
- ・市内企業の健康経営推進施策として、健幸アプリを活用してもらいたい。

3. 必要とする技術について

健幸アプリと連携するアプリケーション開発・運用技術等を想定するがこれにこだわらない。

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

アプリと健幸クラブを試験的に連携させ、利用想定者に使用してもらい、その使いやすさ等のフィードバックを得てアプリ増加の見込みを分析することや健康無関心層への行動変容への効果を検証することなどを想定するが、これにこだわらない。

※連携とはより市民にとって健”幸”を促すためのアプリ機能の拡充、利便性の向上、インセンティブの強化（ポイント連携など）を想定する。

※健康無関心層のうち、特に若年層（20代から30代の男女。健幸クラブ登録者数も相対的に低い）をターゲットに想定しているが、健康無関心層は広い年代に存在するため、

若年層以外をターゲットとした提案も可能とする。

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・はままつ健幸クラブ

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/wellnessproject/kyogikai/kenkoclub.htm>